

第2次静岡市総合計画のテーマとそれを実現するための戦略について

<静岡市基本構想・目指すまちの姿>

活発に交流し価値を創り合う自立都市

◆『活発交流』の方向性

- ① 富士山静岡空港開港等の大規模社会資本の整備に合わせ、活発な交流の視野を広く世界に向けていく。
- ② 市民の自立性や主体性の高まりにより、市民レベルにおける相互の交流を拡大していく。
- ③ 情報通信技術の飛躍的な発展を踏まえ、国内外との大交流に必要な情報交流の基盤を確立していく。

◆『価値創造』の方向性

- ① 本市の自然、歴史、文化などの地域資源を磨き、価値を高め、積極的に発信していく。
- ② 社会システムや産業構造の変革を進め、新たな価値の創造を目指し、時代を牽引していく。
- ③ コミュニティの再生や協働の推進により、地域力の強化を進めていく。

◆『自立都市形成』の方向性

- ① 新たな静岡市として一層の一体化の促進を図り、都市の自主性、自立性を高めていく。
- ② 地方分権改革を推進し、地方政府としての基盤の確立を目指していく。
- ③ 経済活動や食料、エネルギー供給等の面からも自立性を高めていく。

第1次総合計画からのグレードアップを目指すもの

- 1 **高度な政策推進への挑戦**
政令指定都市としての基盤が確立する中、自立した主体的市民の協働により、世界や日本が抱えている課題に、率先して立ち向かっていく。
- 2 **全市的な総合力の発揮**
新たな静岡市としての一体化が完了する中、オール静岡で地域資源を磨き上げ、シティプロモーションに取り組むとともに、地域産業の高付加価値化を推進していく。
- 3 **都市機能の高度化の推進**
大規模社会資本の整備が進められる中、都市機能の一層の高度化を図り、ハイグレードでフットワークのよい都市を目指していく。

<第1次総合計画の総括>

第1次総合計画では、特に、政令指定都市移行の効果を短期間に達成するため、12のスタートアッププロジェクトを展開し、政令指定都市としての基盤を確立した。

また、目指すまちの姿を実現していくための前提となる新「静岡市」としての一体化と、活発な交流や価値創造の担い手としての主体的な市民、団体等が成長していった。

<静岡の発展可能性>

- 指定都市の基盤が確立し市民自治力が向上
- 日本列島の中央に位置する立地条件
- 台頭著しいアジア諸国との連携の深まり
- 世界に誇る豊かな自然環境
- 長い歴史と培われた文化
- 多様で多彩な産業の集積
- 世界への扉を開く富士山静岡空港の開港
- 中核国際港湾として日本の発展に寄与する清水港の機能向上
- 新東名高速道路・中部横断道路の整備による国土高速ネットワークとの連携

<時代の潮流>

- 1 人口減少社会への転換
- 2 社会の多様性への対応
- 3 地方分権改革の進展
- 4 大交流時代の到来
- 5 低炭素革命の推進
- 6 世界的経済危機からの脱出
- 7 安全・安心社会への希求
- 8 情報通信技術の飛躍的な発展
- 9 市民意識の変化

<第2次総合計画で目指すテーマ>

世界に輝く『静岡』の創造

<第2次総合計画のテーマ>

世界に輝く『静岡』の創造

★活発交流の範囲の拡大

活発な交流の範囲を世界に向けて拡大していき、世界の中での存在感を示していく。

★価値創造の水準の向上

豊かな自然、長い歴史と、それらに培われた文化や産業を磨き上げ、世界に通じる『静岡』ブランドを構築し、広く国内外に発信していく。

★自立都市の基盤の確立

一体化した新たな『静岡』の飛躍を目指し、世界とつながる「地方政府」の確立に向けた基盤を確立していく。

本市の目指すまちの姿である「活発に交流し価値を創り合う自立都市」の実現を目指すため、第2次総合計画では、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマに戦略を構築していくこととした。

そこで、この「世界に輝く『静岡』の創造」の実現を目指していくため、各分野別基本計画とは別に、戦略的観点から、総合的かつ横断的に施策の推進を図っていくため、「3つの戦略」を掲げることとした。

3つの戦略は、「活発交流の範囲の拡大」、「価値創造の水準の向上」、「自立都市の基盤の確立」について、「世界」をキーワードとして、重点的に取り組むことにより、これらが相互に影響を及ぼし、作用しあいながら「世界に輝く『静岡』の創造」を実現していくとするものである。

輝く「人財(ひと)」がいる。そこに、輝く「価値(かち)」が生まれ、輝く「地域(まち)」が創られる。そして「静岡」が世界に輝く…

戦略Ⅰ

世界へ羽ばたく『人財(ひと)』づくり

世界に輝く『静岡』を創造していくためには、全ての市民が豊かな可能性を持つ存在として尊重され、市民一人ひとりがそれぞれの役割を担う大切な財産であるとの認識のもと、健やかに暮らしていくことが必要です。

そして、様々な市民や団体が、それぞれの役割を担い、能力を高めあうことにより、可能性を開花させ、世界との交流や連携を深めていくことが重要となります。

そこで、静岡市は、世界へ羽ばたく『人財(ひと)』づくりを進めます。

- 1 未来をひらく子どもプロジェクト
- 2 健康長寿プロジェクト
- 3 社会参加と自立のまちプロジェクト
- 4 静岡まちぐるみ協働プロジェクト

戦略Ⅱ

世界が求める『価値(かち)』づくり

世界に輝く『静岡』を創造していくためには、豊かな自然や長い歴史に培われた文化や産業を、世界水準を目指して磨き上げていくとともに、将来に継承していくことが必要です。

そして、新産業の創出や静岡文化の創造により、地域産業の高付加価値化や静岡ブランドの構築を進め、それらを世界に向けて発信していくことが重要となります。

そこで、静岡市は、世界が求める『価値(かち)』づくりを進めます。

- 1 シティプロモーション推進プロジェクト
- 2 地域産業ブランディングプロジェクト
- 3 低炭素都市創造プロジェクト

戦略Ⅲ

世界に魅せる『地域(まち)』づくり

世界に輝く『静岡』を創造していくためには、各地域の多様な個性や特性を伸ばしていくとともに、それらの連携を推進し、市域全体の総合的な魅力を高めていくことが必要です。

そして、市民の安全や安心を確保し、ゆとりや安らぎを創出することにより、多くの世界の人々が憧れ、誰もが住みたくする地域を創造していくことが重要となります。そこで、静岡市は、世界に魅せる『地域(まち)』づくりを進めます。

- 1 ネットワークシティプロジェクト
- 2 市民が誇れる美しいまちプロジェクト
- 3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト
- 4 市民の安全・安心確保プロジェクト

H21.8.27.

まちづくりの大綱

健康・福祉

みんなで健やかにいきいきと暮らせるまち

文化・学習

心豊かな人を育み、しずおか文化を創造するまち

生活・環境

安全・安心・快適に暮らせる自然豊かなまち

産業経済

地域が育て世界に挑む創造型産業のまち

都市基盤

活発な都市活動を支える快適で質の高いまち